

平成29年7月九州北部豪雨における災害対応支援

SIP4Dにより実動機関(自衛隊、消防、警察、海保等)の活動を支援



平成29年7月九州北部豪雨において災害対応組織の垣根を越えた情報共有・相互利用を支援

各組織で集約・作成した情報を、組織間の垣根を越えて連携・相互利用できるよう、情報共有システム「SIP4D(エス・アイ・ピー・フォー・デー)」を提供し、災害対応活動支援を行っています。実動機関(自衛隊、消防、警察、海保等)の搜索活動、流木の撤去・処理活動、各種復旧・復興活動等に活用されています。

SIP4D: Sharing Information Platform for Disaster Management

SIP4D災害対応支援地図

インターネットにつながれば、PC、タブレット、スマホで利用可能。大判印刷もOK。
災害対応組織(府省庁・県・実動機関等)の範囲にアクセス限定中。



防災科研



統合可能な情報例

- 航空写真 (国土地理院、民間企業等)
- ドローン映像 (内閣府ImPACT、国土地理院等)
- 道路規制状況 (県土整備部、国交省DiMAPS)
- 避難所 (県)
- 流木分布 (国土地理院、防災科研)
- 河川・土砂被害 (国交省DiMAPS)
- 建物ポリゴン (国土地理院、民間企業)
- 実行雨量 (防災科研)
- 実動機関活動状況 (消防庁・JAXA)

情報は随時追加・変動、共有範囲が変わる場合があります。



SIP4Dによる情報支援(福岡県災害対策本部にて)

- 平成29年7月5日からの大雨により被害が発生した福岡県、大分県に防災科研の職員を派遣し、福岡県災害対策本部、政府現地連絡調整室に常駐。
- 各組織の災害情報をSIP4Dで集約して災害対応支援地図による情報支援を実施。